

「真剣・集中」で本大好きな児童を育成する学校図書館教育をめざした実践

学校名 幸手市立八代小学校
所在地 幸手市平須賀1-14
電話 0480-48-0960

1 本校の概要

本校は、全校児童47名、学級数7学級（1学年1学級と特別支援学級が1学級、通級指導教室併設）の小規模校である。学校図書館の整備、蔵書管理を行う図書館協力員の勤務は、週2回合計6時間勤務で、図書館業務は、バーコードによる管理で図書委員会が行っている。

週1回の朝読書、月1回の読み聞かせ（教職員や読み聞かせボランティアによる。）年に3回のお話し会など年間を通して読書に親しむ学校教育を実現している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ c 司書教諭、図書館協力員を活用した取組
- ・ d 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

ア 読書ビンゴと読書の木

全校児童参加の読書の木を作成し、小規模校ならではの良さを生かして、お互いの顔が浮かぶ読書の木を図書室壁面に掲示している。また図書委員会主導で毎年恒例で読書ビンゴを開催している。ビンゴ表は、多読を目的としたいろいろな分類の本を配したものとなっており、3ビンゴ達成した児童には図書委員会手作りのしおりを配布している。



イ 学級文庫の充実

通年置いてある学級文庫のほかに毎月、図書委員会が各学級に選書した本を15冊～20冊ほど配架している。児童が他の児童のために選んでいる。新しい本や人気のある本も並ぶため児童にも好評である。

ウ 配架と掲示の工夫

委員会や学級の仕事で忙しい高学年も手に届く場所にあるので、隙間時間に本を読むことができる。

エ 魅力ある学校図書館の展示



新刊図書表紙を上配架して挿絵でアピール！



国語の教科書に掲載の本を手に取りやすく配架！

オ 図書館オリエンテーションやブックトーク

国語科の学習に結び付けて、1年生に図書館オリエンテーションや6年生へのブックトークを学校司書と図書館協力員とで取り組んだ。また、雨の日の休み時間等に読み聞かせを定期的に行い、本の紹介を行うことで、居場所としての図書館の役割も目指している。

カ お話し会 読み聞かせ 親子読書

- ・ 読み聞かせ 毎月1回朝の時間15分各学級
- ・ 「お話し森」の方によるお話し会、年3回
- ・ 11月の読書週間に合わせて親子読書



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 本を手取る場所を図書館に限らなかつたことで隙間時間に本を手取る習慣がついてきている。
- ・ 貸出冊数が、前年度比較で1.5倍以上になった。

(2) 課題

- ・ 高学年は、行事等で忙しいこともあり、貸出冊数が少ない傾向にあり、読む児童と読まない児童の差がある。
- ・ 「どんな本が面白いのか分からない。」と話す児童が多いことから、今後も本の紹介をしていくことの大切さを感じる。

(3) おわりに

今後も「読書好き」な児童を増やし、自ら学び、学ぶ楽しさを追求できる児童の育成を図っていく。